

思考の森・ランの森

人々のために



『思考の森・ランの森(人々のために)』という森の創造が進められています。社会を照らし、学内外の関係者との連携を構築できればとの趣旨により、『思考を求め、互いに集う森の創造』が進められております。

2014 年度ノーベル物理学賞受賞者「天野浩」先生が来学され、講演と記念植樹が行われましたが、同時に天野先生は、『人々のために』と揮毫されました。植樹されたのは台風に強いと云われる「黒木」でした。

また、本学部環境建設工学科の優秀な学生であったものの、卒業を目の前にして他界された「尾崎次郎氏の在学の記し」として植樹が行われ、そこは『次郎の丘果樹園』と命名されています。

その丘の頂上付近には、トルコ国大学と本学工学部との連携を記念して「オリブの木」が植樹されました。このような経緯を持つ森に、この度、『思考の森・ランの森（人々のために）』の構築を進めております。この森に人々が集い、さまざまな希望と未来を語り、思考に思考を重ねるシンボルとして、この森が位置付けられることとなります。

森の広場には、巨大な琉球石灰岩を現地から掘り出し、その 1 枚岩から造ったテーブルセットが寄贈されました（アイダン・渡嘉敷・伊東氏による贈呈）。ここに腰を下ろし、思考し、懇談をすすめ、新しい創造が湧くことが期待されます。

このような趣旨にご賛同頂き、一人一人からの協力を頂けたなら、その名にふさわしい森が構築されるものとお願ひする次第です。近い将来に、この森に、人々が、そして我々が集い、『希望の灯りが照り続ける』ことを心から期待申し上げます。



ピタンガ（学名 *Eugenia uniflora* フトモモ科の常緑低木）
ピタンガはアセロラと似ていて、ビタミンCはレモンの十数倍と言われます。



ビワ（枇杷）が実を結びました。

皆様からのご協力をどうかよろしくお願いいたします。

プロジェクト代表 社会基盤デザインコース 仲座栄三

連絡先： enakaza@tec.u-ryukyu.ac.jp